

(様式第2号)

## 団体概要書

(その1)

団体名	特定非営利活動法人キャズ	団体の種別	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 ( <input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の役職・氏名	(ふりがな) ささおか たかし 運営委員長 笹岡 敬	※いずれかの□にチェックしてください。	
主たる事務所の所在地	大阪府大阪市城東区諏訪1丁目2番25号		
設立年月	2001年 07月	構成員数	13名
事業年度	1月 1日 から 12月 31日		
団体の活動目的	この法人は、アーティスト・企画者・鑑賞者や愛好家など様々な人々が自由な立場でアートの現場に参画する機会を作り、もってアート本来の力を取り戻し広く社会貢献することを目的とする。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 4. 美術		
主な活動内容	主にキュレーターの企画による展覧会を開催し、展覧会と共に開催するオープニングレセプション、アーティストトーク等に様々な人々が参加する事によりその三者が接し、話し合い、関わり合う場を設ける。また、展覧会リーフレットを作成、アーティストトークのストーリーミングなどを行うことでアーカイブとして保存する。		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 ●狂転体展 2022年4月16日(土)～4月30日(土) アーティストトーク:4月30日(土) ●中前寛文展「希望の惑星/The Planet of Hope」 2022年10月8日(土)～10月22日(土) アーティストトーク:10月22日(土) ●井上裕加里展「モアイ像は隠岐を知っている」 助成 一般財団法人おおさか創造千島財団 2022年12月3日(土)～12月17日(土) アーティストトーク:12月17日(土) ●パイロットプラント展「壺」 2023年1月28日(土)～2月11日(土) 参加作家 21名(組) アーティストトーク:2月11日(土)		
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (URL <a href="http://cas.or.jp/">http://cas.or.jp/</a> ) / 無		
機関紙	有 (機関紙名 ) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎  
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

## 寄附者への P R 等

(その 2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>この数年、新型コロナウイルス感染症の影響を受け展覧会の開催数も来場者数も減り、海外からアーティストも来日出来ませんでした。キャズでは展覧会を無料で見ていただけますがアーティストトークなどのイベントで様々な形で金銭的なご支援を頂いています。そのため大きな経済的影響を受けました。</p> <p>また、キャズは大阪近郊のみならず、名古屋、東京、海外などで活躍するアーティストを紹介して来ました。しかしながらキャズで展覧会を開催するにおいてアーティスト、キュレーターなど多くの関係者が手弁当であり、スペースの維持にも多くの資金を必要としています。大阪でこのような場を維持していくために多くの方々に様々なご支援を頂きたいと思います。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>キャズで開催される展覧会の幾つかは大阪や関西以外の地域で活動するアーティストの展覧会です。また、国内のみならず韓国や欧米のアーティストの展覧会を開催してきました。それらの展覧会やアーティストトーク、シンポジウムなどで、様々な地域のアーティストが何を考え制作をしているのか観て頂き、話を聞いて頂き、語り合っ頂きたいと思っています。しかし、それだけでは無く、アーティストの皆さんには大阪や関西のアーティスト、キュレーターの方々と接することで大阪や関西の情報をそれぞれの地域に持って帰って頂きたいとも思っています。そのことで、大阪のみならず関西のアーティストの活躍の場が広がれば良いと思っています。それには、放出に移転したキャズの展覧会を多くの方々に観て頂き、継続していくことが大切であると思っています。</p>
<p>市民等寄附者に対する P R</p>	<p>キャズが開催する展覧会は「現代美術（コンテンポラリーアート）」と呼ばれる分野です。その展覧会には「今、さっきまで、アーティストが制作していた作品」が展示されます。「現代美術」の作品は難解であると思われる方が多いのは事実です。また、そういう作品が多いのも事実かもしれません。しかし、「今、さっきまで」制作されていた作品に私達が初めて接するのは当たり前です。小さな子どもが接するものが最初は何なのか分からないのと同じで、私達も初めて接する作品が分からないのは当然だと言えます。そこで私達はアーティストやキュレーターと直に関わり合う場を用意することで解決の手助けになればと考えています。様々な作品を観て、考えて頂き、語り合うことで多くの方々の人生の楽しみや糧になればと願っています。</p>